

環境行政改革フォーラム論文集 Vol.2 No.2

目次

■ 1 日目：第一分科会・公共事業 1

沖縄県普天間代替施設(辺野古移転)環境アセスメントの諸課題	青山 貞一(東京都市大学大学院環境情報学研究科)	105
開門が新しい風を呼ぶ	大島 弘三(諫早湾しおまねきの会)	111
巨額 ODA は必要か? ~事業仕分けと援助の本質	満田 夏花(国際環境 NGO FoE Japan)	114
新たな公共事業のあり方に関する研究 ~ソウル市清溪川復元事業の多面的効果について~	青山 貞一(東京都市大学環境情報学部)	118
半世紀を経て佐久間ダムで何が起きたか	鈴木 謙(東京大学大学院農学生命科学研究科 附属水産実験所)	125
動物行政に対する刑事告発のその後と課題	金丸 浩成(みやざき・市民オンブズマン)	127
八ッ場ダム・危ない水事情とイヌワシ、その最新情報を追う	鈴木 郁子(フリーライター・八ッ場ダム訴訟原告)	131
(有) 柏廃材処理センター(産業廃棄物処理施設)に関わる 健康被害問題	岡田 早和子(市民ネットワーク・野田市議会議員)	135

■ 1 日目：第二分科会・公共事業 2

都道の建設工事差止訴訟東京地裁は被告に肩入れした不当判決	柳田 由紀子(調布保谷線 3.6 m 公害道路 ストップの会)	139
東大は柏キャンパス建設資金のために農場の一部を 整備することを考えています	村瀬 敬子(西東京市民)	143
下北沢における鉄道あとち(上部)利用の課題	高橋 ユリカ(ライター ・「小田急線跡地を考える会」事務局)	146
軻の浦世界遺産訴訟~未来へ伝えるまちづくり~	松居 秀子(NPO 軻まちづくり工房)	150
福山駅前広場整備事業を通して地方分権とは	落合 真弓(福山市議会議員)	154
東京都稲城市の多摩丘陵の里山開発問題	内田 竹彦(NPO 法人一新塾塾生)	158
リニア中央新幹線計画が検証なしで進行している	懸樋 哲夫(リニア・市民ネット)	162
「エコロシティかさま」操業差止め訴訟第 1 審判決の問題点	安江 祐・坂本 博之(弁護士)	165

■ 1 日目：第三分科会・土壌汚染・有害物質・生物

小鳥が丘団地土壌汚染問題の経緯と土壌汚染の実態	鷹取 敦(環境総合研究所)、河田英正(弁護士)	169
杉並病の経緯および被害の再発を防ぐための方策を探る	小椋 和子・松崎早苗(廃棄物系化学物質による健 康被害者支援科学者グループ)	173
PM 2.5(微小粒子状物質)環境基準設定への取組み	西村 隆雄(大気汚染被害者弁護団全国連絡会議)	177
動物行政に対する刑事告発のその後と課題	野中 公彦(みやざき・市民オンブズマン)	181
藤前干潟から生命流域へ	辻 淳夫(NPO 藤前干潟を守る会、 日本湿地ネットワーク)	185
公共事業やインフラ整備事業における環境問題	川井 直哉(NPO 法人再生舎)	189
アスファルト切断水の処理システムの開発	高梨 順子(NPO 法人再生舎)、 細瀨 慈貴(株式会社バイオメルト)	192
高濃度ダイオキシンを含む田子の浦浚渫土砂の 海浜埋め立て問題について	青山 貞一(東京都市大学大学院環境情報学研究科)	195

■ 1 日目：第四分科会・廃棄物

いわき市 市街地の真中に計画された産廃処分場	半澤 美子 (21 世紀の森処分場に反対する連絡会)	201
住宅地におけるペット火葬炉設置に関する問題	西江 智彦 (前野町の環境を守る会)	205
ペット火葬炉からの複雑な地形の住宅地への 大気汚染の影響 (その1)	鷹取 敦 (環境総合研究所)	209
所沢市の廃プラ混合焼却導入確認実証試験の問題点の概要	池田 こみち (環境総合研究所)、 脇 晴代・城下 師子・矢作 いづみ (所沢市議)	213
ごみ発電と廃プラ焼却で鳩山公約の実現は可能か	青木 泰 (NPO 法人ごみ問題 5 市連絡会)	217
東京 23 区の廃プラ焼却で CO2 が 40% も増大	青木 泰 (NPO 法人ごみ問題 5 市連絡会)	221
東京 23 区の廃プラスチックごみ分別変更	木下 靖枝・佐藤 禮子 (東京 23 区廃プラ焼却の 見直しを求める公害調停首都圏連絡会)	225
沖縄県読谷村安定型最終処分場の不法投棄問題と解決方策	池田 こみち (環境総合研究所)、 青山 貞一 (東京都市大学)、坂本 博之 (弁護士)	229

■ 1 日目：第五分科会・将来ビジョン市民活動

2030 ビジョン：日本のありたい姿	和田 友江・中山 弘 ("2030 ビジョン"プロジェクト)	233
2030 ビジョン実現に向けた取組みの方向性	蔭木 達也・中山 弘 ("2030 ビジョン"プロジェクト)	237
石油の需給逼迫を踏まえた持続可能な社会を考える	西村 豊 (サステナ・ライフ : 持続可能な生活を考える会)	241
市民による環境負荷低減プログラムの企画・実施と評価の試み	中村 早苗 (金沢エコネット)	245
「市民科学」を支える市民ファンドとしての高木基金の取り組み	菅波 完 (高木仁三郎市民科学基金)	249
市民と行政との協働～千葉県市川市の事例報告	齊藤 真実 (市川市民)	253
調査捕鯨の問題点と、国際人権法にもとづく 「クジラ肉裁判」の争点	星川 淳 (国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン事務局長)	257
日本における ISO14001 取得組織の EMS 運用実態	田中 元樹 (東京都市大学環境情報学部)	261

■ 2 日目：第一分科会

ODA における環境社会配慮の新展開 - JICA のガイドライン改定	原科 幸彦 (東京工業大学、IAIA 理事・会長職)	265
環境影響評価法見直しの問題点	原科 幸彦 (東京工業大学、IAIA 理事・会長職)	269

■ 2 日目：第二分科会

埼玉県越谷市の大気汚染について	武井 和彦 (越谷市民ネットワーク)	273
巨大ダム計画のからくり…設楽ダムの不特定容量をめぐって	市野 和夫 (設楽ダムの建設中止を求める会)	277

■ 論文発表

イングランドの食品リサイクル制度	野村 久子 (マンチェスター大学)	281
南本牧新処分場は横浜のハッ場ダムか	西岡 政子 (横浜・ゴミを考える連絡会)	285
ハッ場ダムの「生活再建事業」は誰のためか？生活再建か？	まさの あつこ (ジャーナリスト)	288

■ 環境行政改革フォーラム 幹事・委員一覧

■ 環境行政改革フォーラム 会員募集要項・申込用紙